



JAグループ6次産業化促進の具体化にかかる取組みについて ～農林水産業協同組合ファンドの組成～

JAグループは、第26回JA大会決議（次代へつなぐ協同）にもとづき、農業者の所得向上、地域の活性化を目指して、JAグループの総合事業機能を発揮する6次産業化促進策を決定し、取組みをすすめてきた。

このたび、JAグループは、6次産業化事業体の組成・支援をはかるため、政府の出資のもと設立された株式会社農林漁業成長産業化支援機構（以下「機構」という。）の支援決定を受け、4月より6次産業化ファンド（農林水産業協同組合ファンド）の運営を開始する。

JAグループは、総合力を発揮して、6次産業化の取組み促進をはじめとした活力ある農業・農村づくりに取組んでいく。

1 農林水産業協同組合ファンドの概要

- 機構と農林中央金庫（以下「金庫」という。）、全国共済農業協同組合連合会（以下「全共連」という。）の出資により、機構のサブファンドとして、出資総額100億円（枠）の「農林水産業投資事業有限責任組合」を設立し、6次産業化事業体に対して投資を行う。
- 本ファンドは、6次産業化事業体の育成を通して、農林漁業者・JAグループ主導のバリューチェーン構築による農林漁業者の所得確保、地域の活性化を目的としている。

2 相談・申込み窓口について

- 本ファンドは、平成25年4月1日から受付を開始する。相談・申込みにあたっては各都道府県中央会に問合せください。

以 上